

渡辺大三 NEWS



【会派 NEWS】 2018(平成 30)年 12 月 03 日発行
連絡先 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301
TEL 090-3345-6929 FAX 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com

問題が多い市長の新配置案(C-3)

市庁舎・福祉会館建設 あまりにも狭い広場・緑地

11月21日、市議会で庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会が開かれました。

西岡市長は、今年3月時点で残った庁舎と福祉会館の施設配置案4案のうち「最も優位性がある」とし、その実現をめざしてきた「Cre-2」案を除外する旨を表明しました。大きな事態の変化です。

結論を間違えて市民説明会

市長は、「Cre-2」案の除外を前提として11月上旬から中旬に5回の市民説明会を実施したつもりでした。しかし、説明会当日に配布した資料や市役所HPに掲載した資料に誤りがあり、除外したはずの「Cre-2」案の実現をめざすとの記載が削除されず放置されていた事実が議会の指摘で判明しました。

「結論を間違えた説明会」など、聞いたこともありません。醜態もここまでくると、怒りを通り越します。

11月30日の特別委員会で私は、正しい資料で市民説明会をやり直すよう求めました。市長側は開催に前向きな姿勢を示しました。

「広場がせまい！」

西岡市長が、11月に入って新たに加えた配置案「C-3」が、現時点で西岡市長の政策意思に最も近い案だと思われます。確かに、いくつかの点においては「Cre-2」の問題点を解消していますが、しかし、非常に大きな欠陥があることが分かりました。

それは、市民の憩いの場となる広場や緑地の面積が非常に狭くなるということです。

私の徹底追及で、各配置案における広場と緑地の面積は、以下のように大きく異なることが判明しました。

配置案	広場面積	緑地面積
C-2	2400 m ²	2190 m ²
Cre-2	2400 m ²	875 m ²
C-3	1000 m ²	1900 m ²

庁舎建設予定地の現状における広場と緑地の合計は、概算で約6000 m²。

3案とも、庁舎と福祉会館は同じ床面積での試算です。同じ床面積なら、広場や緑地を多く確保すべきだと私は思います。

私や共産党さんは、「C-2」案をベースに、庁舎の床面積を縮減してコストダウンを図り、基本設計すべきだと提案しておりますが、他の会派の中には「C-3」案を推進している会派もあり、最終的にどうなるか予測が付きません。

市民の皆さんが意向を示すことが重要です。

市民と議員が「会」を創設

9月29日、庁舎と福祉会館の建設に民意を反映させるべく、市民と議員が新たな市民団体を創設しました。名称は「庁舎と福祉会館の建設を考える会」です。私も他会派の議員とともに役員の一になりました。年会費は500円で、会員募集中です。

「会」は、11月16日、西岡市長と市議会に対して、

以下の9項目を内容とした要望書を提出しました。

- (1) B-2、C-2、Cre-2、C-3などの配置案の比較にあつては、平等な条件で比較すること。より多くの市民の意向を把握して配置案を決定すること。
- (2) 庁舎の床面積の可能な限りの縮減、清掃関連施設の敷地内暫定移設の見送り、免震構造適用部分の縮減等で、建設コストを大幅に削減し、他の市民サービスへの影響を最小限に抑制すること。
- (3) 福祉会館を可能な限り早期に完成させること。
- (4) 福祉会館は庁舎と同様に南面の採光や眺望を確保すること。
- (5) 想定される施設配置の中で、平常時に、広場と緑地の一体的な利用ができる面積が最大になる施設配置にすること。小金井市らしく「公園の中の庁舎」「緑の中の庁舎」をコンセプトとして計画を立案すること。
- (6) 駐輪場は、建物至近に確保すること。
- (7) 障がい者用駐車場は、障がい者の利便に配慮した位置とすること。
- (8) 敷地内の既存大型樹木に関しては、2本の大きなメタセコイヤを含め、可能な限り保全を図ること。
- (9) 庁舎及び福祉会館の建設に関する市民への情報発信を飛躍的に充実させること。また、施設配置や設計に市民の声を最大限取り入れること。

多過ぎる！

小金井市議会の議員定数

9月13日、国分寺市議会は、議員定数を24名から22名に2名削減する条例改正案(議員提案)を、賛成15議員、反対8議員の大差で可決しました。

このことにより、多摩26市のうち人口が11万人から12万人規模の4市の市議会議員定数は以下の通りとなりました。

市議会名	議員定数
昭島市議会	22名
東久留米市議会	22名
国分寺市議会	22名
小金井市議会	24名

現在、私は、議会運営委員会の委員長を務めており、委員会では議員定数に関する議論が行われています。私の所属会派(情報公開こがねい)は、議員定数の2減を提案しておりますが、削減に反対の会派も相当数あり、2年3か月後の市議選までに削減が実現できるかどうか、非常に微妙な情勢です。

市議会議員定数の1名削減による財政効果は、議員報酬、政務活動費、議員視察旅費などの合計で約1300万円と試算されます。2名減なら2600万円です。この2600万円を用意できれば、国や東京都からの補助も受けて、毎年約1億円の市民サービスも可能になると考えられます。

多摩26市の直近の決算で、市民一人あたりの財政措置状況を見ると、小金井市は、福祉などの民生費が25位、教育費に至っては26位です。まさに「最底辺」にあるのです。

税金を他市より2名多過ぎる市議会議員の議員報酬に注ぎ込み続けるのか、あるいは不足している市民サービスの財源に投入するのか。市議会の見識が問われていると思います。自己の「保身」ではなく、市民第一主義で物事を考えるべきです。

なお、市議会議員が多いと、その分、庁舎の床が多く必要になります。議会スペースの算出根拠は、市議会議員の定数に左右されるからです。ムダはさらなるムダを生むのです。

私は引き続き、小金井市議会の議員定数の2名削減に向けて、取り組みを強めていきます。

渡辺大三 プロフィール

1966年5月2日、岩手県奥州市生まれ。秋田県、宮城県、山形県を経て、小学校3年生から小金井市在住。小金井市立本町小学校、小金井市立小金井第一中学校、東京都立小金井北高等学校、中央大学法学部卒業。株式会社河北新報社(本社=仙台市)で新聞記者。衆議院議員秘書を経て、1993年、小金井市議選に26歳で初当選。以降7期連続当選(直近4期は無所属で立候補)。「脱ムダ改革」を掲げ、市政のムダ遣いや不正を厳しくチェック。

現在=小金井市の地域政党「情報公開こがねい」共同代表。東京都の地域政党「自由を守る会(代表=上田令子都議会議員)」幹事長。市議会では議会運営委員長を務める。

日々の市議会報告や活動報告は、Twitter、facebookに掲載しております。「渡辺大三HP」からアクセスできます。ぜひお読みください。

<http://www.daizou.org/>